


受賞技術	保線におけるモニタリング技術の実用化と維持管理への応用
技術開発者	東日本旅客鉄道株式会社 嘉嶋崇志
	
受賞にあたって	
<p>この度、栄えある国土技術開発賞最優秀賞を賜り誠にありがとうございます。モニタリング技術の実用化には、装置の開発のみならず、装置自体の保守管理やデータの伝送といった運用に関わる内容から、ビッグデータ処理のための専門のセンターの設立、データを活用するためのアプリケーション開発、実務に応用するための制度設計まで多岐にわたる課題を解決する必要がありました。これまでの関係者全員の取り組みの成果が評価されたものと考えています。</p>	
受賞後の動き	
<p>一般建設業界と同様に保線業界も労働力不足の課題に直面しています。また、鉄道輸送の安全性や安定性確保、鉄道インフラの維持管理に対する社会的要求は益々高まっていると感じています。一方で、多くの鉄道事業者の保線部門が、技術、予算、人材面で充実した体制を構築できているわけではありません。本技術が広く活用されることも含めて、鉄道経営の根幹を支える保線部門の生産性向上と質的向上に貢献できるように努力して参りたいと考えています。</p>	